

# CASBEE®新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築（新築）2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟V.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称	(仮称)イオン新潟PC新築工事	
建設地	新潟県新潟市北区笹山東3番1, 6, 7, 8, 12, 13番	
用途地域	都市計画区域内市街化区域	
建物用途	事務所,工場,	
竣工年	2025年3月 予定	
敷地面積	40,622.68 m <sup>2</sup>	
建築面積	12,601.24 m <sup>2</sup>	
延床面積	13,638.91 m <sup>2</sup>	
階数	地上2F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2023年12月7日	

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{49.5}{32.8} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	平均スコア 3.0		バリアフリー計画	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	-
			設備の更新性	Q2.3.3	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	平均スコア 2.9		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	2.8
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	平均スコア 2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	平均スコア 4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1	5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	平均スコア 4.3		節水	LR2.1.1	4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4	5.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6	4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	平均スコア 2.0		生物環境の保全と創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	平均スコア 2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

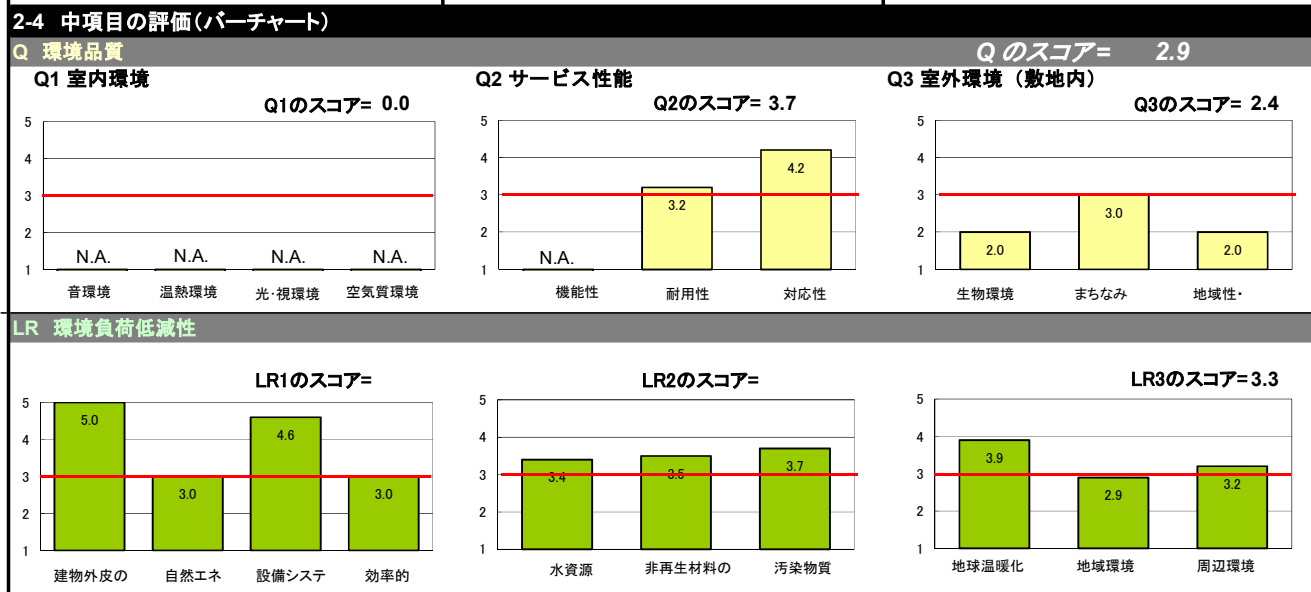
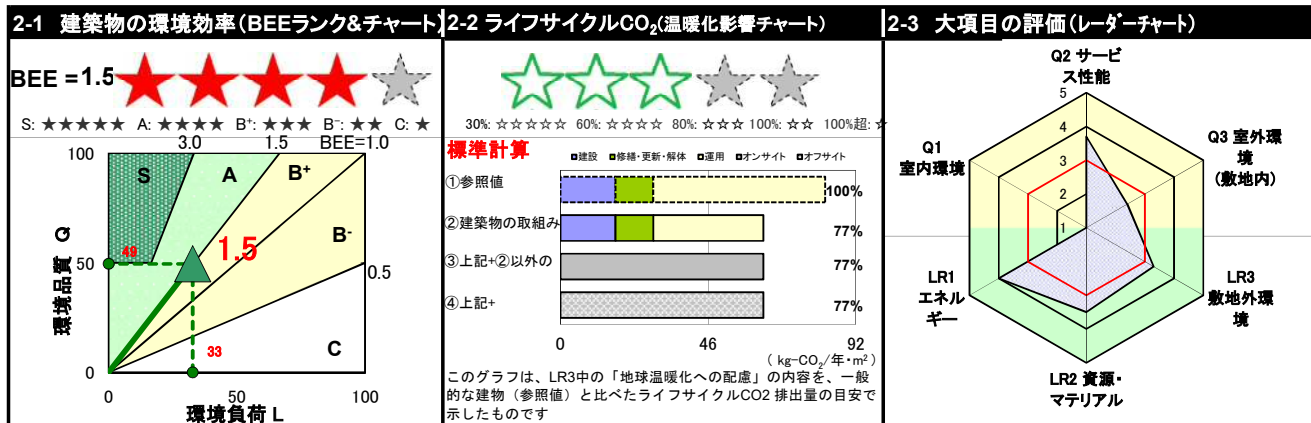
## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項



# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築) 2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオン新潟PC新築工事	階数	地上2F
建設地	新潟県新潟市北区笹山東3番1, 6, 7, 8, 12, 13番	構造	S造
用途地域	都市計画区域内市街化区域	平均居住人員	230 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,780 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年12月7日
敷地面積	40,623 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業株式会社北陸建築一級建築士事務所
建築面積	12,601 m <sup>2</sup>	確認日	2023年12月7日
延床面積	13,639 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業株式会社北陸建築一級建築士事務所 川口 典宏



3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 耐用年数の長い建材の採用や更新・修繕に配慮した計画とするなど建物維持管理等を効率的に実施できる計画としている		その他 特になし
Q1 室内環境 対象外	Q2 サービス性能 壁長さ比率0.1105と空間形状の自由度が大きく、耐用年数の長い外壁建材や配管材を使用するなどし、環境に配慮	Q3 室外環境(敷地内) 外構緑化係数が20%以上
LR1 エネルギー BEIm=0.64	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を使用した断熱材を使用しておらず、環境に配慮	LR3 敷地外環境 適切な駐輪・駐車スペースを確保し、利便性・周辺環境に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される